岳北広域行政組合　地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進捗状況

岳北広域行政組合では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、当組合が実施している事務及び事業に関し、省エネルギー化などの取組を推進し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的として、「岳北広域行政組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を令和２年（2020 年）６月に策定しました。

この計画は、平成 30 年度（2018 年度）を基準年度とし、令和２年度（2020 年度）から令和 12 年度（2030 年度）の期間において、二酸化炭素の排出量を基準年度比で**20%**削減することを目標としています。

1　令和７年度（2025 年度）　温室効果ガス総排出量

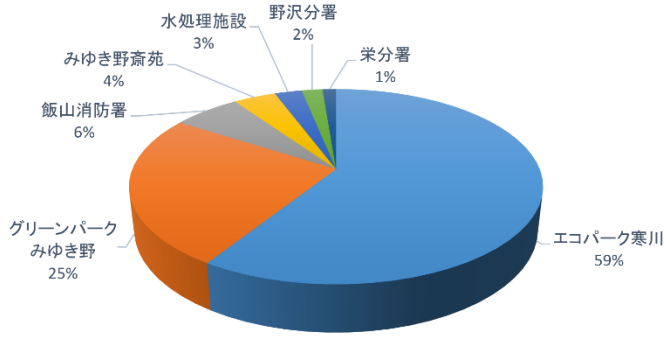
令和７年度（2025 年度）岳北広域行政組合の事務事業に伴う「温室効果ガス」は、1,432.41 ｔ-CO_2となり、基準年度の平成 30 年度（2018 年度）比で 474.07 ｔ-CO_2（24.9%）減少し目標を達成しました。

区分	基準年度 平成 30 年度 （2018 年度）	令和７年度 （2025 年度）	増減率	
			基準年度比	計画目標
温室効果ガス排出量（ｔ-CO_2）	1,906.48	1,432.41	△ 24.9%	△ 20%

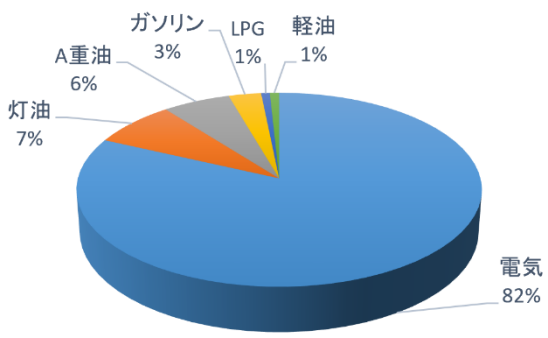
施設別の排出量割合は、エコパーク寒川が全体の約 60%を占め、次いでグリーンパークみゆき野 25%、飯山消防署 6%となりました。

エネルギー種別では、電気が全体の 82%を占め、次いで灯油７%、Ａ重油 6%となりました。

【施 設 別】



【エネルギー種別】



2　温室効果ガス排出量の推移

